

教科名	科目名	履修学年	履修区分	単位数
地理歴史	歴史総合	1年 一般コース	必修	2

目 標	<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のおり育成することを目指す。</p>
教科書	『高等学校 歴史総合』（第一学習社）
副教材	『歴史総合ノート』（第一学習社）
授業形態	<p>講義形式を中心にグループワークやプレゼンテーションなども取り入れた授業を行う。基礎的・基本的な知識を身に着けることはもちろん、ICTを活用して自分たちで調べたり、ノートの整理などを行ったりして知識の定着を図る。</p>
評価規準	<p>〈知識及び技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</li> </ul> <p>〈思考力・判断力・表現力〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</li> </ul> <p>〈主体的に学習に取り組む態度〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</li> </ul>
評価方法	<p>日々の授業や学習への取り組み方やグループワークなどの思考・判断・表現に関する活動への取り組み方、小・中テストでの知識・技能の定着度を考慮して総合的に評価する。</p>
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史総合の学習を通して、日本やそれを取り巻く世界の歴史事象などについての知識・技能を身に着けていくが、この教科の目的はその知識・技能を用いて現代の日本や世界を取り巻く問題について歴史的な視点から問いかけ、探究することである。したがって関係ない遠い過去のことを暗記するだけの科目ではないことを意識して学習してほしい。</li> </ul>

